

だい ぶ か だい  
第6部 課題

この用紙は、大会当日使用しますので、必ずご持  
参ください。

だい かい  
第18回

まいにち にゆうりよく  
毎日パソコン入力コンクール

ぜんこくたいかい  
全国大会

か だい  
【課題】

だい ぶ わぶん  
第6部 和文B

べいこくはつ せ かい て き か ぶ や す ぼう え き ま さ つ げ き か けいしやう  
米国発の世界的株安 貿易摩擦激化への警鐘だ  
せいげんじかん ふん  
制限時間 5分

とうじつ ちゆういじこう  
【コンクール当日の注意事項】

- この用紙を拡大・修飾などして、当日使用しても問題ありません。
- 団体責任者の指示にしたがい、18桁の参加番号を半角数字で入力してください。
- 課題の入力はすべて全角文字でおこなってください。スペースと改行も字数に数えます。ただし最終行はのぞきます。

へいせい ねん がつ にちづけ へいせい ねん がつ にちづけ  
※平成30年10月12日付、平成30年10月2日付  
まいにちしんぶんしゃせつ いんよう もじすう じていど  
毎日新聞社説より引用しました。(文字数1,800字程度)

かだいぶんしやう きんそくもじ  
<課題文章の禁則文字について>

まいにち にゆうりよく いんよう ぶんしやう げんぶん と こ  
毎日パソコン入力コンクールでは、引用した文章を原文のままソフトに取り込んでいるた  
め、行頭、行末に禁則文字が来る場合があります。課題文章のPDFファイルどおりに  
入力すると正解になります。

しゅさい  
主催

まいにちしんぶんしゃ  
毎日新聞社

いっばんしやだんほうじん  
一般社団法人

にほん のうりよくけんていいんかい  
日本パソコン能力検定委員会

こうえん  
後援


そうむしやう  
総務省

もんぶかがくしやう  
文部科学省


こうせいろうどうしやう  
厚生労働省


けいざいさんぎやうしやう  
経済産業省ほか


ぎょう じづめ ぶんしょう にゆうりよく  
1行35字詰で、つぎの文章を入力してください。


※  の箇所かしよ かいぎょうで改行 (Enter) してください。


しゃせつ べいこくはつ せ かい てき かぶ やす ぼう えき ま さつ げき か けいしやう  
社説：米国発の世界的株安 貿易摩擦激化への警鐘だ 


みぎかた あ べいこく かぶしき そう ば てんかんてん おとず  
右肩上がりだった米国の株式相場に、とうとう転換点が訪れたのか。 


しやう かい げつ おおはば やす どうきやう せ かい しやう おお  
ニューヨーク市場が8カ月ぶりの大幅安となり、東京など世界の市場も大き  
く揺さぶられた。やく 2 7 ねん ぶりの たか ね かい ふく につけい へい きん かぶ か  
約27年ぶりの高値を回復したばかりの日経平均株価は、下  
らくりつ こうぎやう かぶ しゅ へい きん こ きゆうらく  
落率がダウ工業株30種平均を超える急落ぶりだった。 


このところ進んだ米国の長期金利上昇が要因の一つに挙げられよう。もとも  
と過熱気味だった株式市場に、長期金利の急上昇が加わり、先行きへの警戒が  
いっ き つよ  
一気に強まった。 


きん り じやうしやう じたい こう けい き ちやう き か ほん えい し ぜん うご い きゆう  
金利の上昇自体は、好景気の長期化を反映した自然な動きと言える。ただ急  
げき す きぎやう こじん か い こんなん けい き さ けい かい ひつ やう  
激過ぎると、企業や個人の借入れを困難にし、景気を冷ますので警戒が必要  
だ。 


だいたい どうりやう かぶ か きゆうらく う れん ぼう じゆん び せい どり じ かい ひ なん  
トランプ大統領は株価急落を受け、連邦準備制度理事会 (FRB) を非難し  
た。「気が狂った」などと、度重なる利上げを責めたが、筋違いも甚だしい。  
いれい きん ゆう かん わ せい じやう か そ ち どう ぜん あら た  
異例の金融緩和を正常化する措置は当然のことだ。改めるべきはむしろ大統領  
の政策だろ。 


こく さい つう か き きん こんしやう せ かい けい ざい せい ちやう み どお か ほう しゆう せい  
国際通貨基金 (IMF) は今週、世界経済の成長見通しを下方修正した。そ  
の主な要因は貿易活動の停滞である。IMFは、今年の世界貿易の拡大見通し  
を7月時点より0・6ポイント下げ、4・2%とした。 

ぼう えき てい たい まね ほ か せい けん ほ ご しゆ ぎ てき つうしやう せい さい かく  
貿易の停滞を招くのは、他ならぬトランプ政権の保護主義的な通商政策だ。  
ぼう えき せん そう げき か いっ と べい こく ちゆう ごく じつ たい けい ざい あく えい  
「貿易戦争」が激化の一途をたどっている米国と中国では、実体経済への悪影  
きやう げん じつ べい ちゆう らい ねん せい ちやう りつ  
響が現実のものとなりつつある。IMFは米中の来年の成長率をそれぞれ2・  
5%、6・2%と、ともに今年より0・4ポイント低く予測している。 

えい きやう ぼう えき く こ にほん きぎやう にほん けい ざい ぜん たい およ せ かい  
影響は、貿易に組み込まれている日本の企業や日本経済全体にも及ぶ。世界  
てき かぶ きゆうらく ふ もう たい りつ せ かい けい ざい こん めい おとし い けい しやう う  
的な株急落は、不毛な対立が世界経済を混迷に陥れかねないことへの警鐘と受  
け止めるべきだ。 

せん しん こく しん こう こく くわ しゅ やう か こく ち い き ざい むしやう ちゆう おう ぎん こう  
先進国に新興国を加えた主要20カ国・地域 (G20) の財務相・中央銀行  
そう さい かい ぎ ひら ご せ かい てき ふ きやう  
総裁会議がインドネシアで開かれている。リーマン・ショック後の世界的不況  
では、新興国が回復のけん引力となったが、今回の貿易戦争はそうした新興国  
にも大きな犠牲を払わせることになりかねない。 

きん ゆう しじやう へん ちやう せ かい けい ざい ほん かく てき あつ か はってん かつ こく きやう  
金融市場の変調を、世界経済の本格的な悪化に発展させないよう、各国は協  
ちやう べい せい けん ほ ご しゆ ぎ けつ べつ はたら ひつ やう  
調し米政権に保護主義との決別を働きかける必要がある。 

まい にち しん ぶん ねん がつ にち  
毎日新聞 2018年10月12日 



社説：ノーベル医学賞に本庶氏 がん治療の新地平開いた

今年のノーベル医学生理学賞が京都大の本庶佑博士と米国のジェームズ・アリソン博士に贈られることが決まった。本庶氏は新しいタイプの抗がん剤「オブジーボ」の開発につながる基礎研究が評価された。

日本人の二人に一人ががんにかかる時代、従来と作用メカニズムが異なる革新的な抗がん剤の登場は人々に希望を与える。その基礎を作った功績は大きく、日本人の貢献を喜ぶたい。

がんの治療法では外科、抗がん剤、放射線の他に、がん細胞を攻撃する免疫の利用が研究されてきたが、顕著な効果が上がらなかった。

そこに登場したのが今回の授賞対象となった新しい戦略だ。1990年代、免疫にブレーキをかける分子を研究していたアリソン氏は、ブレーキを外すことで効果的にがんを攻撃できると思いついた。

本庶氏はこれとは異なる仕組みで免疫の働きにブレーキをかける別の分子を発見。その役割を突きとめた結果が「オブジーボ」の開発につながった。

こうした新機構の抗がん剤は「免疫チェックポイント阻害剤」と呼ばれ、次々と開発が進んだ。対象も当初のメラノーマから肺がんや胃がんなどに広がり、抗がん剤の世界を一新しつつある。

ただ、忘れてはならないのは、この成果が最初から抗がん剤を開発しようと考えた結果ではないことだ。生命の基本的な働きを解明しようとする四半世紀前の基礎研究が、結果的に抗がん剤につながった。

しかも、今回の受賞決定は現在の日本の研究の活力を示しているとはいえない。それどころか、最近の日本の科学界は論文数も低迷し、暗雲が漂っているように見える。その背景にあるのは、目先の成果を重視する政府の基盤的な研究費の軽視、行き過ぎた研究投資の「集中と選択」ではないだろうか。

研究を始める前にその出口を知ることができず、日本が今後もこうした成果を上げようとするなら、基盤的な研究費を惜しむべきではない。

日本ではオブジーボが非常に高価だったことから適正な薬価が議論となった。今後、効果も薬価も高い新薬にどう対応していくかも、改めて考えておくべき課題だろう。

毎日新聞 2018年10月2日